

育脳寺子屋NEWS

2020.7.1

(お子さんが大人になったとき、社会で活躍できるヒントがいっぱい)

こんな時、どんな声掛けがいいの？

～お母さんの声掛け次第で、子供はどんどん伸びるのです～



日頃は育脳寺子屋の指導にご理解とご協力賜りありがとうございます。

ところで、一つ質問ですが、ほかの塾ではなく、当塾を選んで頂いた理由って何ですか？

「自学自習の力を身につけて欲しいから」 「自ら考え、行動できる子になってほしい」
「社会に出てから困らない力を身につけて欲しい」

などなど、このあたりの理由の方が多いのではと予想します。

こちらとしてもそのような力を身につけてもらうために、日々の指導にあたっています。

が、1週間を「分」に直すと 10,080 分、その中で私達が指導するのは、小学生でも 90～180 分程度です。この時間だけで子供を別人に変えてあげる魔法はありません。お子さんをどんどん伸ばしてあげるには、育脳寺子屋の指導に加え、多くの時間を過ごすご家庭での声掛けが非常に重要になってきます。

ご家庭では、次のような場合どのような声掛けをされていますか？？

1. 叱ってばかりの我が子を「自立」した子に育てたい場合

良い声掛け：「あなたはどうしたいの？」

悪い声掛け：「親の言うことを聞きなさい！」

我が子が反抗し言うことを聞かない、高学年にもなってくると「うるさい」などと言い返してくることも出てきます。

親としたりイラっとして「親の言うことを聞きなさいっ！！！」と押さえつけようとしてしまいますが、まずうまくはいきません。みなさん一度や二度は（毎日でしょうか？）こんな経験をされていると思います。

我が子がこのような反応をしてきたら、一度自分の子供時代を思い出してみてください。時期が早いか遅いかの違いはあれど、多くの方は親やほかの大人に対して反発心を持ったことがあると思います。

恐らくその反発心は、「反抗」の感情というよりは、「自立したい」のにそれを妨げるような、親や大人からの一方的な言い方に対しての反発心なのです。（自立した行動ができていないから叱られているということは、子供は柵に上げて考えます・・・）

我が子に自立した大人に成長してもらうためには、お子さんが自分の意思を示した時には、できるだけ自分で決めさせてあげることが大切です。

もちろん何でもかんでも OK というのではなく、礼儀や道德に関する事などは「ダメなものはダメ！」で結構ですが、それ以外のことに関しては一方的に「～しなさい」ではなく、親の意思・意見を伝えただけで、我が子の意思・意見も言ってもらい、お互いの**納得解**を求めていけばよいのです。

子どもの意思を尊重せず、親が一方的に指示をしていけば、いつまでも親の言うことを聞くだけで、自分で考えて選択し、行動することができなくなってしまいます。

まずは一方的に意見を言ったり指示を出すのではなく、相手の主張を聞くという気持ちを持つだけで、子供の自主性や主体性を潰すことは避けられるのです。

2. 勉強に対する「ご褒美」を用意する場合

良い声掛け：勉強頑張っているね（努力にご褒美）

悪い声掛け：100点とったら何か買ってあげる（結果にご褒美）

なかなか勉強にやる気を出さない子には「ご褒美」を用意するのも一つの方法ではありますが。ただし、このご褒美には注意が必要です。

例えば「100点を取ったらご褒美をあげる」と決めた場合、努力したのに100点を取れなかったら子供はどう考えるでしょうか。

「頑張ったけどダメだった」 「どうせ努力しても無駄」

と意欲を失くしてしまうのです。結果を求めることが悪いとは言いませんが、度が過ぎるとお子さんの心が「結果至上主義」になってしまい、結果を出すためには手段を選ばなくなり、不正をしてでも結果を出そうとするようになることもあります。

では、どのようにご褒美を与えればよいのでしょうか？

アメリカのハーバード大学である調査が行われました。小中学生を対象に、「結果に対してご褒美を用意するグループ」と「努力に対してご褒美を用意するグループ」の二つのグループに分け、成績の比較を行ったのです。

まずはどちらのグループにも「2週間後にテストをします」と伝えます。

「結果に対してご褒美を用意するグループ」の方には100点を取ったらご褒美をあげると伝え、勉強をしてもらいます。

「努力に対してご褒美を用意するグループ」の方には、毎日ドリルを1ページしたらご褒美をあげると伝え、勉強をしてもらいます。

2週間後、良い結果を出したのは「努力に対してご褒美を用意するグループ」の方だったのです。

詳しく調べてみると、努力したらご褒美がもらえる子供たちは、すべきことが明確なのでモチベーションが保ちやすく、学習を継続することができたので好成績につながったようでした。

それに比べて結果がでたらご褒美がもらえる子供たちは、100点を取るための効率の良い勉強方法が分からない、今のやり方で100点が取れるのか不安になる・・・などの理由でモチベーションが下がり、学習を継続することができなかつたので、結果に繋がらなかったのです。

つまり、「**子供は近い将来の確実なご褒美の方が、勉強へのやる気が出る**」ということがこの調査から分かったのです。

これからご家庭で何かご褒美を用意する場合は、例えば「毎日〇〇を続けることができればご褒美」のように、日々の努力に対してご褒美を用意するようにしてください。そうすれば、続けることでそれが習慣となり、習慣となることで継続することができ、結果的に成績が良くなるのです。（そのうちご褒美なしでも継続できるようになります）

すぐに結果が出なかったり、なかなか成果が目に見えないと「今やっていることは意味があるの？」というように考えてしまいがちですが、子供たちは子供たちなりに、色々と考えたり、努力を続けています。**親ができるのはそんな子供を応援し、励ますこと**。子育てや教育は本当に『**忍耐**』の一言に尽きると思います。

【参考資料：子供の成績を伸ばす親と伸ばせない親の習慣（明日香出版社）】

べんきょう なぜ勉強しないといけないの??

まいにちまいにちべんきょう
なぜみなさんは、毎日毎日勉強をしているのでしょうか？その答えは、
ひとに「ありがとう」と言ってもらうためなのです。

しゃかい ひつよう ひと これからの社会で必要とされる人とは？

とう かあ じだい べんきょう りゆう しょうらいあんてい
お父さんやお母さんの時代までは、勉強をする理由は「将来安定した
せいかつ
生活をするため」でした。しかし今は時代が大きく変わり、勉強をする
いま じだい おお か べんきょう
ことが将来の安定を保障してくれない時代となりました。
しょうらい あんてい ほしょう じだい

べんきょう
ではなぜ勉強をしないといけないのでしょうか？

とうきょうだいがく きょうじゆ のうりよく じぶん ひと
東京大学の教授は「あなたの能力を、自分のためではなく、人のために
つか おつしゃ たか のうりよく も
使ってあげてください」と仰っています。たとえ高い能力を持っていても、
じぶん つか ひと ひとり ひと つか ひと
それを自分のためだけに使う人は一人ぼっちですが、人のために使える人
は、その人たちに助けてもらえますし、社会から必要とされます。

ひと じぶん べんきょう すこ そんな きも
人のために自分が勉強？と少し損をした気持ちになるかもしれませんが、
けつきよく ひと じぶん かえ
結局は人のためにしたことは、自分に返ってきます。

しょうらい ひと い きちよう ひと
将来、たくさんの人に「ありがとう」と言ってもらえる貴重な人になる
いま じみち どりよく つづ
よう、今は地道に努力を続けてくださいね。



いじん めいげん
偉人の名言

にんげん せいこう けっか
「人間は成功すること（結果）より、
どりよく かにい いぎ
努力すること（過程）に意義がある」

のむら かつや ぶろやきゅうかい だいひょう めいせんしゅ かんとく
野村 克也 ～プロ野球界を代表する名選手であり監督～

じぶん へや めだ は よ かえ
自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。